

見学会／東京駅周辺地下空間ネットワーク



ー地下歩行空間のネットワーク形成の歴史ー

日 時：平成 28 年 11 月 22 日（火）13:00～17:00（受付開始 12:30）
場 所：（集合場所） ECOZZERIA（エコツェリア） 3×3ラボ サロン
東京都千代田大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1階（別添地図参照）
主 催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会（担当：計画小委員会）
CPD：土木学会CPD認定プログラム（認定番号：JSCE16-1038、単位数：4.0 単位）

東京駅周辺の大手町・丸の内・有楽町地区（以下、大丸有地区）は、面積約 120ha に、地下鉄 7 路線 13 駅があり（半径 300m の駅勢圏で全域カバー）、八重洲から東銀座に至る総延長約 18km の地下歩行空間のネットワークが整備されています。この「地下歩行空間ネットワーク」は「地上の歩行空間」とともに、高度に集積した業務機能・交流機能を有する大丸有地区の「インフラ」として、就業者（24 万人）や来街者など人々の日々の活動を支えています。

このネットワークの形成の始まりは、昭和 12 年（1937 年）12 月 27 日の東京駅南口と（旧）丸ビルとを結ぶ連絡地下道の開通に遡ります。この建設は、東京駅前の交通の輻輳から、丸ビルなど丸の内働く人々や来街者など歩行者の安全を図るためでした。当時の東京駅前広場は首都の玄関として乗降客で混雑し、かつ関東大震災後は、自動車や路面電車・バス等の交通が輻輳し、歩行者にとっては非常に危険な状態でした。

その後、地下鉄の建設に伴い道路下にラチ外コンコースが設けられ、このコンコースとビルとが接続され、加えて、ビルとビルとの接続によりネットワークが図られてきました。さらに、大丸有地区まちづくり懇談会の「まちづくりガイドライン」により、再開発に併せて道路下やビルの地階にネットワークが拡張されています。

また、この地区では、我国初の都市計画駐車場「丸ノ内駐車場」を改修し地下一階を歩行空間に転用、地下二階を周辺ビルの駐車場との接続し、地下駐車場ネットワークを形成、出入口調整することにより「行幸通りの景観形成」と「地上の自動車交通の流の調整」を図るなど、地下空間を利用した新たな試みがなされています。

さらには、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、海外からの来訪者や障害を持つ方々、高齢者への対応やサインや位置情報の提供方法など検討が進められています。

今回の見学会では、大丸有地区の地下歩行空間のネットワーク形成や駐車場など地下空間利用の経緯を確認しながら、今後の都市における「インフラ」としての地下空間の活用のあり方について考えたいと思います。

1. プログラム

13:00～14:00：大丸有地区の地下歩行空間ネットワーク形成について（説明）

14:00～15:15：地下空間見学

15:15～15:45：休憩と質疑（補足説明）

15:45～17:00：地下空間見学

※本セミナーは土木学会継続教育CPD（4.0 単位）ポイントプログラムです。

2. 参加申込

○定 員：40 名（参加には事前申込みが必要です。定員に達し次第締め切ります。）

○申込方法：土木学会ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/>)「本部主催行事の参加申込」よりお申込み下さい。

○申込締切：2016 年 11 月 11 日（金）必着

○参加費：無料

3. 集合場所



電車によるアクセス

東京メトロ東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線
「大手町駅」(C10 出口)より徒歩約2分

住所

東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・JXビル 1 階
TEL：03-3287-6200

以上

- ◆◆◆ お問い合わせ先
- 主 催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会
(担当：計画小委員会)
- 連絡先：公益社団法人土木学会 研究事業課 小川 祐司
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目 (外濠公園内)
E-mail：ogawa@jsce.or.jp